次世代への継承

箱根 大舞台に懸けた想い

1区 大手町～鶴見 21.3km

黒木 陽向（クロキ ヒナタ）
経営学部4年　熊本県出身　九州学院高校

1時間01分43秒　区間順位　14位

集大成の箱根路は最高の舞台

目標タイムをクリアできた一方で、区間順位には悔しさも残りました。しかし、一番きつい場面で、どこよりも多い創価大学の幟と、私の名前を呼んでいただいた温かいご声援が大きな力となりました。そのお陰で、最後まで執念の走りをすることができました。4年間の集大成として、最高の応援の中で、最初で最後の箱根路を走り抜き、襷を繋げたことを誇りに思います。

予想に反してのハイペースの中でやや後方寄りにポジションを取ってレースを進める。中盤から縦長の隊列となり、追い上げには厳しい展開、勝負所の六郷橋で順位を下げ14位で2区へ

2区 鶴見～戸塚 23.1km

スティーブン・ムチーニ
経済学部3年　ケニア出身　ミクニ高校

1時間06分00秒　区間順位　5位

大舞台で思い通りの会心レース

設定した目標タイムを目指し、着実にペースを刻む冷静な走りができました。大舞台の緊張感を力に変え、最後まで心から楽しんで走り抜けたことは大きな収穫です。特にラストスパートには、確かな手応えを感じています。この経験を自信に変え、さらに強い創価大学を見せられるよう頑張ります。

14位集団から5キロ付近で抜け出しを図る。8キロ過ぎの横浜駅付近からペースアップ。11キロで12位に上がるとさらにペースを上げて20・5キロ手前で7位に上昇。そのまま3区へ

3区 戸塚～平塚 21.4km

織橋 巧（オリハシ タクミ）
経済学部3年　岐阜県出身　中京高校

1時間02分04秒　区間順位　9位

箱根路でさらなる高みを

目標に近い走りができたことは大きな自信となりましたが、さらなる高みを目指すための課題も見えたレースでした。今季、三大駅伝すべてを走った経験は私の財産となりました。この経験を力に変え、後半勝負でチームを勝利へ導く走りに挑戦し、結果でチームを鼓舞できる頼もしい選手へと成長したいと思います。

2年連続の箱根。藤沢通過点で順天堂大と7位で並走、山梨学院を追う。14キロで一つ順位を上げて6位へ。しかし19キロ地点で順天堂大にかわされ先頭と2分56秒差で4区へ

4区 平塚～小田原 20.9km

山口 翔輝（ヤマグチ ショウキ）
経営学部2年　山口県出身　大牟田高校

1時間02分44秒　区間順位　15位

悔しい結果は次の舞台で活かす

一度ペースを落とすと立て直しが難しいという課題を痛感し、自らレースを作り、維持することの重要性を学びました。終盤にペースを引き上げるイメージを持っていましたが、勝負どころで切り替えることができず、反省しています。前の選手との差を詰めて襷を繋ぎたかったです。今回の経験を忘れずに、これからの練習に活かしていきたいです。

5強の一角・青山学院を後ろに従えてスタート。昨年1年生での5区山登りの経験を活かして順調に走るもなかなかペースが上がらず苦しい展開の中、8位に落とすとも必死に前を追う。

5区 小田原～箱根町 20.8km

野沢 悠真（ノザワ ユウマ）
経済学部4年　宮城県出身　利府高校

1時間11分31秒　区間順位　6位

3年前のリベンジ果たした5区

3年ぶりに5区を走りました。12キロ過ぎから足がつりそうになりましたが、沿道にたくさんの方がいて、名前を呼んでくださって力になり、走り切ることができました。1年時のリベンジを果たすことができ、とても嬉しいです。これまでの4年間を振り返ると、箱根駅伝があったから、前を向いてここまで成長することができました。

4年連続箱根路を走る野沢、山登りへ走り出す。箱根小涌園前ではトップとの差は4分32秒も決して諦めず前を追っていく。区間6位の記録で2023年同区間のリベンジを果たす。

6区 箱根町～小田原 20.8km

小池 莉希（コイケ リキ）
教育学部3年　長野県出身　佐久長聖高校

56分48秒　区間順位　1位　区間賞

区間新へあと一秒の激走

区間賞を獲得できたのは、日頃から支えていただいている皆様と応援のおかげです。区間新記録へ1秒届かず悔しさもありますが、後半に勢いをつける最高の走りができたと思います。榎木監督の「区間賞を狙えるぞ！」との激や、沿道での高校の恩師の姿に火がつき、ゲームチェンジャーとしての役割を果たすことができました。来年の三大駅伝もご期待ください！

強い気持ちを持って駒澤大と1分02秒差でスタート。10キロ付近までは駒澤大と区間賞争いをしていたがその後さらにペースを上げて区間新に1秒及ばなかったが見事に区間賞を獲得。

7区 小田原～平塚 21.3km

石丸 惇那（イシマル ジュンナ）
経済学部4年　鹿児島県出身　出水中央高校

1時間04分46秒　区間順位　17位

悔しさ残るも次の舞台

後半の失速で目標に届かず、悔しさが残るラストランとなりました。しかし、最後はチームへの恩返しを胸に、4年間の感謝を込めて走り抜きました。創価大学での日々は、恵まれた環境と多くの学びに満ちた最高の時間でした。この経験を糧に、次の舞台でも新たな目標を掲げ、自分らしく挑戦し続けていきます。

僅差で順天堂大についで襷を受けた石丸、しばらく並走しながら駒澤大を追う。二宮通過時点では順天堂大に離されたが追ってくる日本大の追随を許さず8位をキープして8区へ。

8区 平塚～戸塚 21.4km

衣川 勇太（キヌガワ ユウタ）
経営学部1年　兵庫県出身　西脇工業高校

1時間05分14秒　区間順位　11位

将来はチームのエースになる

学年で唯一の出走となり、1年生の代表として1年間の集大成を見せようと全力で挑みました。得意の単独走で練習の成果を発揮し、遊行寺の坂も自分らしく楽しんで走れたことは大きな自信となりました。この経験を糧に、将来は創価を代表するエースとしてチームを牽引できるよう、志を高く持って走り続けます。

1年生ながらロードでは安定した走りを見せると評判の衣川、単独走という難しい展開でも堅実な走りで粘り強さをみせる。駒澤大と2分49秒差で勝負どころの9区へ。

9区 戸塚～鶴見 23.1km

榎木 凜太朗（エノキ リンタロウ）
経営学部2年　宮崎県出身　小林高校

1時間10分06秒　区間順位　18位

箱根で新たな目標を得た

箱根を目指して練習してきましたが、理想の走りは難しいことを実感しました。直前に監督から電話があり、区間上位を目指そうと気合が入りました。目標タイムより遅れてしまい、後半5キロのペースをあげることの大切さを感じました。給水で「しっかり勝負していけ」と声をかけてもらいました。また1年間練習に取り組んでいきます。

中学時代からトライアスロンで培った自慢の脚力を活かして前を追っていく。前後選手との差が大きく開いて、ペース配分が難しい中、監督の激励を味方にギアを上げる。

10区 鶴見～大手町 23.0km

齊藤 大空（サイトウ ソラ）
経営学部3年　北海道出身　利府高校

1時間10分44秒　区間順位　17位

悔しい結果を必ず来年にいかす

1キロ3分のペースで走ることを意識してスタートしました。中盤では足のけいれんが起きましたが、主務の安達さんに「けがの時期に比べたら、苦しくないぞ」と声をかけていただき、最後まで走り抜くことができました。

悔しい結果となった分、来年度はチームに貢献できる走りをしたいと思います。

8位で襷を受けて7年連続のシード権を目指してゴールに向かう。途中シード争いのチームに巻き込まれるもペースを崩さず、次世代へ夢を託す襷を繋いでゴールに飛び込んだ。

【写真提供©Getsuriku】

真心のご声援に深く感謝

秋谷芳英理事長

選手の皆さん、2日間の大激走、本当にお疲れ様でした。箱根路を駆けた選手はもとより、駅伝部全選手・スタッフの皆さんが心を一つに挑戦した結果、7年連続シード権を獲得することができ、大感動です。

伝統を受け継ぎ、新たな地平へ邁進する駅伝部へ、世界中から温かいご支援と応援をしてくださった卒業生をはじめ、全ての皆様に、心より厚く御礼申し上げます。

来年の箱根路へ向け更なる挑戦を開始してまいります。

伝統築く7年連続シード権獲得

鈴木美華学長

往路8位、総合8位、そして7年連続でのシード権獲得、誠におめでとうございます。

強豪校がひしめく中で、創価大学の誇りを胸に最後まで襷を繋ぎ抜いた選手たちの勇姿は、本学の歴史に新たな1ページを刻みました。

2日間、選手を支え抜いた駅伝部関係者の皆様に敬意を表するとともに、全国から熱い声援を送ってくださった全ての皆様に心より感謝申し上げます。

今回の課題を糧にトップを獲れるチームを目指す

榎木和貴監督

お正月の2日3日、朝早くから寒いなか沿道にかけつけてくださり、またテレビの前で選手に熱い声援を送っていただき、ありがとうございました。

目標としていた総合3位以上を達成することはできませんでしたが、総合8位でゴールし、7年連続シード権、5年連続の三大駅伝出場権を獲得することができました。

往路は予想を超えるハイペースのレース展開となり、8位でゴールしました。復路はどれだけ巻き返せるかチャレンジする想いで挑みましたが、流れを引き戻せなかった課題が残りました。

4月から新入生も加えた新たな体制となるため、昨年度の反省を活かしながら、チームとしてトップを獲るという目標を掲げられるように、さらなるチーム強化を進めてまいります。

2日間大変にありがとうございました。

三坂佳賞主将

今大会、「闘創心～Next Stage 2～」というスローガンのもと、選手・スタッフが一丸となって箱根路に挑みました。憧れの大舞台を走れる喜びを、襷の重みとともに噛み締めながら、最後まで全力で駆け抜けることができました。関わってくださったすべての皆様に感謝しています。本当にありがとうございました。

この思いは、後輩たちが受け継ぎ、さらなる高みで創価の走りを見せてくれるはずです。

これからも創価大学駅伝部への変わらぬご声援を、よろしくお願いいたします。

襷に込められた想い

創価大学の襷は、2本のストラップが並ぶストライプ柄で、赤と青が使われています。

赤は燃え滾（たぎ）る情熱を意味し、青はクール、冷静な判断力を表します。湧き上がる感情の中でも常に冷静にレースを見極める英知を表します。金文字は栄光の勝利を意味し、優勝へ邁進することでもあります。

陸上競技部 駅伝部

総監督
川嶋 伸次
監督
榎木 和貴
ヘッドコーチ
久保田 満
コーチ
築舘 陽介

★選手

【4年生】
石丸 惇那　経済学部
黒木 陽向　経営学部
竹田 康之助　経営学部
野沢 悠真　経済学部
三坂 佳賞（主将）　法学部
山下 蓮　経済学部

【3年生】
池邊 康太郎　教育学部
大岩 準　文学部
岡野 智也　文学部
織橋 巧　経済学部
川上 翔太　経営学部
川田 聖真　経済学部
小池 莉希　教育学部
齊藤 大空　経営学部
篠原 一希　経済学部
スティーブン ムチーニ　経済学部
根上 和樹　経営学部
細田 峰生　経営学部

【2年生】
有馬 貫太　経済学部
石丸 修那　経営学部
浦川 栞伍　経済学部
榎木 凜太朗　経営学部
齋藤 一筋　経済学部
ソロモン ムトウク　経済学部
中村 柊一　経営学部
西山 修平　教育学部
藤田 圭梧　教育学部
松本 快斗　理工学部
山本 菖蒲　経営学部
吉本 聖志　経営学部

★マネージャー

【4年生】
安達 隆志　経済学部
中村 拳士郎　文学部
石橋 さくら　教育学部

【3年生】
新家 蒼吾　文学部
佐藤 和　教育学部
志賀 華姫　教育学部
水町 彩乃　教育学部

【2年生】
笠原 蓮花　文学部
小林 佳恵　経営学部

【1年生】
圓谷 伸稀　経済学部
小林 清美　教育学部
内山 椋太　経営学部
大倉 凰來　経営学部
小島 宗大　経営学部
衣川 勇太　経営学部
澤江 伊吹　理工学部
藤田 圭梧　教育学部
松本 快斗　理工学部
山本 菖蒲　経営学部
吉本 聖志　経営学部

【1年生】
内山 椋太　経営学部
大倉 凰來　経営学部
小島 宗大　経営学部
衣川 勇太　経営学部
澤江 伊吹　理工学部
藤田 圭梧　教育学部
松本 快斗　理工学部
山本 菖蒲　経営学部
山口 翔輝　経営学部
山瀬 美大　教育学部